



会報

発行年月日 2020年5月1日
発行人 会長 岩本 健一
編集者 黒沢 純一
金子 智久
大久保直子

日本指圧専門学校同窓会
東京都文京区小石川2-12-4
〒112-0002 TEL 03-3813-7354
題字 山内 貞史郎
<http://www.shiatsu-obog.com/>

未来は霧の中に

日本指圧専門学校同窓会 会長

岩本 健一



日本指圧専門学校
同窓会のロゴマークです。
デザイン：鈴木啓太(49期)



令和2年は、武漢発の肺炎で始まりました。あらゆる歴史事件や事象は発生した場所を記録にするのが、新聞記者や歴史家の仕事です。場所を聞けば、事件がすぐ浮かぶからです。コブなんちゃら19、では、30年もしたら忘れられちゃいます。さてポーッと暮らしていた2017年春、私は、同窓会会長に任せられました。しかしその秋、私の身体に起こった事件を書かせていただきました。

・発端…2017年9月の晩、指圧を終えて一杯やっていますと、ゆっくりとしためまいを感じました。ゆっくりと、力強く天井が回るのです。とても逆らえません。ゴツと音も感じました。あぐらをかいた姿勢が保てません。立つと体が右に傾いてゆきます。

救急搬送の判断は、3分間様子を見ます。これは15年間、母と父を介護している間に体験的に分かったことです。15年間で腸閉塞と貧血と脳梗塞の3回、救急依頼をしました。

・救急車を依頼…自問自答「このめまいは、何だ？」「吐き気、腹痛無し。食べたものは異常なしだ。」「こりゃあ頭だっ！」 ケータイで119救急を依頼しました。時刻を見ますと22:40でし

た。流れるようにしゃべれません。「あの、もしも、こんばんは。岩本健一とお申します。救急車をお願いします。」「患者はあ、私1名ですう」 「住所は、横浜市、西区う岡野お、指圧岩本の電光看板がありますう」「ご心配ありがとうございます」「はい、鍵をお あげときますう」 だんだん発語が遅くなります。いつもの用意をスボンのポケットにいれました。財布、運転免許証、保険証、筆記具、ケータイ、自分のお薬手帳。畳の上を尺取り虫のような姿勢で、玄関に移動しました。ロックを開いて、そのまま眠ってしまいました。

・生きてこの世に…次に、目が覚めたら脳外科病院の処置台の上でした。腕時計を見たら23:10でした。

「早く連絡できて、良かったですね」「玄関の引き戸の所で、ぐうぐう声を出して寝ていたそうですよ」と医師の言葉でした。血圧を監視されつつ3日間安静でした。

・発症から救急への電話で3分、救急車の到着まで7分(横浜市の1年間の実績値)、救急車に乗せられ脳外科で対応処置を終えるまで20分と踏みました。合計で30分。

・症状とリハビリ…MRIによれば、左視床内出血していました。この部位は、ピンポン玉のような形で、頭の中心部にあります。運動系の下行神経が一度集中してまた分散している場所ですが、未だ明確な作用が知られていない部位です。

・裂けた血管からの出血はとまっていたましたが、少量の血液が左右の脳の隙間に流出して黒い影を写していました。少量の血液は、脳髄液の異物と

して認識されます。清浄な脳髄液になるまで体が不自由でした。体が自在に動かせない状態は約4日間ほど続きました。手術はせずに済みました。

・言語障害は軽く、7日ほどで改善しました。

・運動麻痺は右下肢に残りました。この回復には7週間かかりました。

・頭部指圧…左頭部を4指で圧してみたところ、心地よい痛みがありました。右頭部を指圧しても心地良さは無いです。

・なんでこんなことを試したのか。私の父母の介護経験によるのです。

・母が左脳梗塞で入院。発語を繰り返す症状あり。面会時、左頭部の指圧を試してみました。結果…言語が一時正常に回復し、約4分間話が出来ました。5回試行、指圧時のみ効果あり。平成22年。翌年他界。

・父は脳幹部梗塞でした。運動系の神経全減。発症2週間後に頭頂部指圧を試してみました。験が動かせようになりました。表情がバツと明るくなったのです。発語は不可でした。瞬きでイエス/ノー会話ができるようになりました。面会毎6回。指圧時のみ効果あり。イエス11回両眼まばたき。ノー11回両眼まばたき。平成26年他界。

まさに、未来は霧の中です。

このころ指圧学校同窓会は、副会長の大崎先生と中盛先生、顧問の小林秋朝先生が、エンジン・フルスロットルで私の不調をおぎなってくれました。あらたに、「文化部」を運用され、実行の音頭を取ってくださいました。

同窓生の皆様、役員の皆様、先生方、本当にありがとうございました。

令和1年度 通常総会が開催されました

日本指圧専門学校同窓会の令和1年度通常総会が、令和1年6月9日(日)日本指圧専門学校本校舎にて開催されました。

出席者は在校生も含め約120余名、定刻11時を少し回り、同窓生物故者に対し黙祷が捧げられた後、総会が開催されました。

42期阿部伸二先生の司会のもと、君が代斉唱、岩本健一会長の挨拶と続き、石塚寛名誉会長からご祝辞を頂きました。

総会の議事は、①平成30年度事業報告及び会計報告、監査報告②令和1年度事業計画案及び予算案について行われ、満場の拍手により承認されました。小林秋朝顧問より昨年発足した文化部の紹介もありました。

その後の記念講演では、「指圧師のスポーツ現場における業務の現状とアスリートがトレーナーに望む役割」と題して、本校専任教員である金子泰隆先生による講演が行われました。あん摩マッサージ指圧師としてトレーナー業務に携わる苦労ややりがい、選手とのコミュニケーションで工夫している点などを余すことなくお話し下さいました。また、特別ゲストとして本校非常勤講師も務めてくださっている阿原典子選手(砲丸投げ)、北口榛花選手(やり投げ)日本記録保持者(者)が来て下さり指圧ケアを受けるアス

リートの生の意見を分かりやすくお話し下さいました。阿原選手、北口選手は時に笑いも交え和やかな講演会となりました。ビデオ撮影や録音をされる熱心な会員もいらつしやいました。

北口選手は東京オリンピックでの活躍が期待されています。同窓生の皆様もぜひ注目してみてください！

14時からの懇親会は、場所を移して居酒屋での開催という初の試みでした。新入会員歓迎懇親を兼ね、和やかな雰囲気の中、日本指圧専門学校理事長であられる同窓会名誉顧問浪越和民先生の名誉顧問挨拶、同窓会会長岩本健一先生の会長挨拶と続き、乾杯の挨拶の後、和やかな歓談に移りました。思い出話や業界の事、仕事の事など話に花を咲かせていました。新旧会員の交流が盛んに出来た事と思います。

最後に、全員で校歌を斉唱し、そして閉会の挨拶と続き、これをもって本通常総会は閉会となりました。

*本総会の記念講演「指圧師のスポーツ現場における業務の現状とアスリートがトレーナーに望む役割」の内容は日本指圧専門学校同窓会ホームページにてご覧頂けます。

URL: <http://www.shiatsu-obog.com/>



左：阿原選手、中央：金子先生、右：北口選手



会長挨拶風景



歓談風景



歓談風景

感謝をこめて

石塚 寛



1947年4月のある日、当時勤務していた日本歯科大学の同僚の先生から「伝通院界限で無料でビールを飲ませてくれる所があるので一緒に行きましょう」と誘われたのがこのささやかな自分史の始まりです。まさかと思いつつもビール飲みたさにその先生のお供をして日本指圧学校へ参りました。ここで浪越徳治郎先生を紹介され談笑しながらビールをしたま御馳走になり良い気分になった所で、徳治郎先生曰く「生徒が待つてますから」と突然教室に案内されました。この時が正に本校の非常勤講師の第1日になります。びっくりしながらも第6期夜間部の生徒に細胞の話をしました所、好評だったからと昼間部の解剖学の講義も依頼されました。

当時生徒は畳敷きの教室で、長机に座っての正に座学を行い、実技の時間には長机を仕舞っての実技室への早変わりでした。休み時間には指圧のオーケストラと称して皆さんに指圧をして頂きました。大学の解剖実習時の不自然な姿勢で肩凝りや腰痛がひどい時もこの指圧で治ることに興味をもち、徳治郎先生のおっしゃる「手当て」で腰痛が改善するとの事にどうしてかを色々調べ中、「ゲートコントロールセオリー」が気を引きました。激しい痛みを指圧することで痛みが緩和することの理論であると思えました。それから指圧に非常に興味を持ち8期生の時に実技指導の吉田理平先生の時間に許可を頂いて、毎週土曜日の夜間の授業を1年間受講させて頂きました。更に研究する必要があると思ひ、9期生と共に指圧研究会をつくりました。所が現在の指圧研究会のように種々の機械、器具が入手出来ずに研究にはなりません。そして次に文献検索を始めました所、多くの臨床医が指圧を用いて臨床もしくは基礎研究を行っていることがわかりました。

1962年に岡山県笠岡市の日本赤十字病院婦人科の宇津木徹医長は尾骨圧迫法、腰部圧迫法、

単徑部圧迫法と名づけた指圧マッサージを実践して93・3%の高い頻度の無痛分娩の効果をおさめた。「無痛、和痛分娩法」と題して日本婦人科学雑誌17(8)に論文発表しました。

1972年に名古屋大学医学部の高木健太郎教授は皮膚への圧迫が対側の発汗を促す現象を見だし、皮膚への圧迫が対側の自律神経を賦活することを「生体の調節機能」と題して中公新書を著しました。

1977年には東芝中央病院泌尿器科の田中亮医師たちは尿管結石患者に第3腰椎の肋骨突起の高さで大腰筋外側縁の近傍に両側性に圧痛点が現れることを知り、此処を指圧する事によって痛痛を消失させることができ、さらに50%以上の高率で自然排石させることを「指圧による尿管結石の消失」と題して日本医事新報No.27・67に発表しました。このような数々の研究があることがわかり明治鍼灸大学、関西鍼灸短期大学(現関西医療大学)など、各地の集会でお伝えして来りました。

日本歯科大学での主な研究は「歯根膜における糸球体」などを行っていました。丁度そのころ学校では新校舎(現本校舎)が落成し「指圧の心母心、おせば5階のビルが建つ」と言われました。伝通院界限には現在のように高いビルがなく、この新校舎は可成り目立ちました。屋上からは遠くの方まで見渡せました。

その後東邦大学医学部に移籍しましたが、相変わらず指圧学校の非常勤講師を続けました。第20期生と共に日本指圧学校指圧奉仕会を立ち上げました。日曜毎に正に「アゴアシ自弁」でも毎回30名程で主に神奈川県下、茨城県下の老人ホームで指圧奉仕を続け数多くの感謝状を頂きました。

東邦大学時代の研究テーマは「比較血液学」で研究材料収集のため沖縄までも数回行き、爬虫類、両生類の血液を集めました。全長30cm程の「キシノウエトカゲ」や「ハブ類」、「オットンガ

エル」、「イボイモリ」など本州にいない動物も研究しました。第1回目の沖縄訪問はまだ復帰前でパスポートを使い、ドル交換、予防接種をして行きました。その他指圧点の解剖は続けており毎年日本指圧協会の夏期大学で発表を続けておりました。もう1つは東洋医学の科学的解明を行っており、当時「知られざる世界」というテレビ番組にも出演し、また「西洋医学の落穂拾い」というテレビ収録も受けました。「科学朝日」からもインタビューを受け記事になりました。この反響の多かった研究は英文論文にまとめ「American Journal of Acupuncture」に載りました。

研究の内容は抗原刺激群と対照群のウサギに通電鍼麻酔をした結果、実験群は対照群に比較して2倍抗体価が上がった結果となり、その原因はリンパ節でBリンパ球がプラズマ細胞に変化していることをつきとめました。この研究は「動物の鍼刺激の免疫反応」と題して第5回国際鍼灸学会でも発表しました。

その後徳島大学へ移りましたが指圧学校とは何かのイベントの折にはよんで頂きました。例えば第1回国際指圧大会によれば「指圧点の解剖」と題して永年の集積した解剖結果を発表させて頂きました。また指圧協会の夏期大学には毎年講師として講義を続けていました。徳島大での研究テーマは「カプサイシンの侵害受容神経におよぼす影響」でした。知覚神経と指圧との関係の基本を探る研究に繋げるために行ったものです。

徳島時代のもう一つの試みは阿波踊りでした。徳大歯学部にも歯学部連があり、夏には街の演舞場で踊っていました。最初は2拍子の機械人形さながらでしたが段々とうまくなって行き連長を務める程でした。これは後の我が校の指圧連につながりました。

徳島でも看護学校の非常勤講師を務めておりある年の入学式に市長の次に祝辞を指名されました。その時は何の用意もしていなくてはたと困りましたが、徳治郎先生の「発心、実行、継続」のお話をとっさに思い出して難を逃れました。あとでその校長から非常に良いお話だとおほめにあずかりました。

その看護学校の数人の生徒さんと「指圧による入院患者の便秘解消」との研究をまとめ徳島県立看護学校研究誌に1990年に載せました。

1999年3月に徳島大学を定年退職し、徳島

の2つの私立大学からの招へいがありました。東京へ戻りたい気持ちもあって当校へ戻って参りました。その頃徳治郎先生も御存命で「良く来てくれましたね」とおっしゃって頂きました。相変わらずユーモアたっぷり事務所には「少年老い易く学成り難し、老人老い易くガクツとなり易し」と壁に貼ってありました。そういえば以前にも「孔子孟子を読んで見たが酒を飲むなと書いてない」などユーモアたっぷりの言葉を沢山教えて頂きました。

当校に帰って来た時は名称も専門学校に変わっており、2年制から3年制になっていました。永年やりたいと思っていた指圧研究会も出来ていて活発に活動しており安心しました。しかしその後、鍼灸大学の研究の進捗状況に焦りを感じて指圧の臨床研究を行いたいと2011年に日本指圧学会をたち上げEBM(根拠に基づく医学)としての指圧を目指したいと思ひました。

あとさきになりますが、当時非常勤講師をしておりました都立健康科学大学(現都立大学)でのサルの解剖を真似て当校でも熊本までサルを入手に行きました。その時お手伝い下さった先生方には改めて御礼申し上げます。これは動物愛護団体からのクレームにより残念乍ら中止しました。もう1つ特筆すべきは「ウニの発生」の実験を三胚葉の分化を理解しやすくなるのに役立つ事で始めました。通常「ウニの発生」実験は臨海実験所などで行っているのを徳島大学でウニを貰い受けて都内の専門学校で行った事は誇りに思っています。これもお手伝い頂いた先生方に深く御礼を申し上げます。

昔取った杵柄で指圧連をつくりました。当時ブラダンス部が華麗な踊りを披露しているのをうらやましく思っておりました。阿波踊りとポラントイア指圧を目的として立ち上げ現在は活発に活動している姿に喜びを感じております。

国試対策としての補講も今では良い思い出になっています。全力投球したにもかかわらず全員合格が望めなかったのには力不足を感じています。この様にして退職の日を迎えてしまいました。

和民理事長先生をはじめ教務の先生方、事務局の皆様、治療部の先生方、非常勤講師の先生方をして生徒諸君に心から感謝申し上げます。

同窓会の先生方には今迄育てて頂き、本当に有難うございました。

難うございました。

今日より明日へ



岡庭 幸正 先生

おやゆびヤインタビュー

Q 学校に通って良かったですか？

解剖、生理、リハビリ、東洋医学の基礎が頭に入っていて、基本指圧が出来ていないと只のマッサージ屋になってしまいます。効きが違いますので偽物か本物かお客様にはすぐに分かってしまいます。

実技の授業では3年間で10人以上の先生に教えて頂きましたが、各先生の持ち味を部位によって取り入れています。首はあの先生、腹部はあの先生、背部はあの先生、下腿はあの先生と組み合わせていますので、今でも施術中は部位ごとに模範とした先生の顔が頭上に浮かんで来ます(笑) そのお陰でブレる事もなく常に安定した指圧が出来ています。

Q 個人開業など学生にアドバイスはありますか？

個人開業は夢のひとつだと思いますが、お子さんがいらっしゃる方は教育費もかかりますので成人になるまで親は安定した固定給のある会社にいるべきでしょう。私が30代の時に憧れていた指圧師の先生から釘をさされていた事です。子供の手が離れたら考えれば良いと思います。

私はサラリーマン時代に手技を教えてくれる民間スクールにも通っていましたが、そこで身に付けた技に基本指圧と応用指圧、座学が入り込み治療院開業に至ります。指圧の良さをアピールするには食わず嫌いにならず様々な手技を身をもって受けに行くことも大事だと思っています。

新型コロナウイルスのような緊急事態の際には持ちこたえられる貯蓄がないと廃業に追い込まれてしまいます。個人開業する際には技と経済力を十分に身に付けた上で回りの人の助言を聞きながら判断して頂きたいと思えます。いずれ皆様が素晴らしい治療家として活躍されることを期待しています。



Q いつ開業されたのですか？

2018年6月にJR田端駅から徒歩圏内の貸物件に開業しました。一人でやっています。

Q 自由診療のみで開業されていますが月に何人ぐらい来院されますか？

多い時で80人です。目標の100人に行きたいですね。

Q 開業当初から順調でしたか？

自宅営業から引き続きのお客様がいましたので当初は月30人前後です。40人の壁を越えたのが開業6ヶ月目で、現在の状況になったのが10ヶ月目からです。保険診療も考えましたが60分で結果を出す指圧にあくまで拘りました。

自分は10ヶ月で困窮状態から抜け出せましたがとてもラッキーな方だと思っています。

Q プレイクしたきつかけは何ですか？

口コミとGoogle広告が同じぐらいの比重です。当初の半年間、来院されたお客様への施術結果の積み重ねが口コミとなり、そこに有料のGoogle広告を掲載し、検索しやすくなったことも大きかったと思います。お客様に日々育てて頂いており感謝しています。

Q 遠方から来る方も多いいですか？

山手線近くと言う事もあり多いです。埼玉、千葉、茨城、神奈川県からも来院して下さっています。遠くは京都からも定期的に通って下さっています。

Q 施術に特徴はありますか？

基本は首に15〜20分、仰臥位にて両手で首を包み込むタイプです。残り時間で全身。症状によっては経験値を基に手順を組み換えます。

メは座位で調整します。

令和3年度 AO入学試験日程

試験区分	エントリーシート 受付期間	入試日	結果通知	合格内定者 出願期間	結果通知 予定日	入学手続 締切
第1次募集	6月15日(月) ～6月25日(木)	6月28日(日) 午前9:30～	試験日より 1週間以内	9月1日(火) ～9月7日(月)	9月10日(木)	9月24日(木) まで
第2次募集	8月3日(月) ～8月13日(木)	8月16日(日) 午前9:30～				

令和3年度 入学試験日程

試験区分	入学選考日	出願期間
社会人入試 [第1次募集]	2020年9月13日(日)	2020年9月1日(火)～9月10日(木)
推薦入試 社会人入試 [第2次募集]	2020年10月11日(日)	2020年10月1日(木)～10月8日(木)
一般入試 [第1次募集]	2020年11月15日(日)	2020年11月2日(月)～11月12日(木)
一般入試 [第2次募集]	2020年12月13日(日)	2020年12月1日(火)～12月10日(木)
一般入試 [第3次募集]	2021年1月17日(日)	2021年1月6日(水)～1月14日(木)
一般入試 [第4次募集]	2021年2月14日(日)	2021年2月1日(月)～2月10日(水)
一般入試 [第5次募集]	2021年3月7日(日)	2021年3月1日(月)～3月4日(木)

*詳しくは学校ホームページをご覧ください。日本指圧専門学校までご連絡いただければ説明をさせていただきます。(TEL.03-3813-7354)

第六十一期 卒業証書授与式

日本指圧専門学校第61期卒業証書授与式(以下卒業式)が3月9日(月)ホテル東京ガーデンパレスにて午後2時から執り行われた。

今年度の卒業式は、新型コロナウイルスの影響で、時間を短縮し、式の内容も大幅な変更があった。

黒沢純一教務統括課長の司会で、開式後、卒業証書の授与が始まる。昼間部は、石塚洋之副担任の呼名の後、A組の代表者、B組の代表者が壇上に上り、担任の本多先生より卒業証書と専門士の称号が授与された。夜間部は高橋副担任の呼名の後、C組の代表者、D組の代表者が壇上に上がり、担任の渡邊先生より卒業証書と専門士の称号が授与された。今年の卒業生は87名であった。

続いて、東洋療法学校協会賞がA組の高木大二朗さんに手渡され会場は拍手喝采に包まれた。その後、日本東洋医学系物理療法学会賞がD組の青柳学さんに手渡され、大きな拍手が起こった。賞状授与は続き、3年間皆勤された卒業生に満場の拍手と共に賞状と記念品が手渡された。さらに功労賞(学級委員・生徒会)、優等賞の表彰、さらに指圧研究会や指圧修練会、NAMC(旧あん摩同好会)、阿波おどり・指圧連、NSCA(パーソナルトレーナー講習会)など、部活動に活躍した学生が表彰を受けた。

今年度の同窓会会長賞は、B組の鈴木健介さんとC組の竹崎美香さんが受賞し、金子泰隆先生より記念品が手渡された。

次いで卒業生に向けて、石塚寛校長の式辞、

浪越和民理事長の祝辞を頂戴した。

その後、祝電披露、在校生代表の佐々木佳美さんによる送辞、卒業生代表甲斐麻里子さんによる答辞が述べられ、各々が心の中で3年間の思い出を巡らせているようであった。

第61期卒業式は、滞りなく終了することができた。

3年間の締めくくりとなる卒業式が駆け足で行われたことは大変残念なことであった。早くこの事態が終息に向かうよう心より願うばかりである。

今年の卒業生にも、3年間で培った技術と知識で指圧を通しての社会貢献を期待している。



卒業生第61期代表からのひと言メッセージ

「学校生活を終えて」

A組 西勝 加奈



自らの手で人を癒す事が出来たら...と思いきや日本指圧専門学校に入りました。気づけばあつという間の三年間でした。

入学当初は最終的に10以上の科目も国家試験で受験する事になるのか！と内心怖じ気づいておりましたが、学んでいく内に一つ一つの知識が身体を理解するために必要な事なのだということに気づき勉強した内容が他の科目と結びつく事も多々あり充足感まで覚えました。実技の方ではクラスメートとローテーションで指圧を練習し合える事が毎度の

楽しみでした。初めはどこかきこちなかった皆の指圧も、時と回を重ねる度にどんどん上達し、その人自身の良さを肌で感じられて勉強にもなりましたし、負けていられないな、と自分を奮い立たせるきっかけにもなりました。先生方から教わった指圧をする上での心得、しっかりと今後に生かしていきたいと思っています。内向的な性格が災いして今まで人と心を通わす事を恐れていた所がありました。が、本校に在籍して世代や価値観などが様々な人達と出会い、励まし合いながら学校生活を送る事で、人の温かさ・尊さを身をもって知る事が出来ました。「指圧の心は母心」という人を思いやる精神を忘れずに、指圧師という人生を全うしていきたいと思えます。三年間本当にありがとうございました。

浪越で得た宝物

B組 中山 修一



在学中に得た一番の宝物は、人との繋がりだと思います。

学校の授業で素敵な先生たちに出会えたのももちろんのこと、授業だけでなく勉強会などで先輩たちやクラスメイトと深く繋がりました。

さらに、頼もしい先輩たちと出会えたことはほくにとつて大きな宝物だと思っています。

後輩たちとの繋がりで強く印象に残っています。

ている出来事は、国家試験前に行き詰まった気持ちを救ってくれた事でした。ラウンジに残って勉強をしている熱心な先輩を捕まえて、いま何を習っているのか聞く事で独りでする勉強よりも何倍も密度の濃い勉強ができました。先輩からの質問に答えられたとき、自信を得ることもできて精神的にも助けられました。

勉強を教えるというのは自分にとってもすごくいい勉強になるんだということを実感できました。

卒業後も今までの繋がりと、新しい人との繋がりを大事にして人に寄り添っていける治療師になりたいと思えます。

庄は口ほどにもものを言う

C組 石丸 友朗



その人の友達をみればその人がわかる。友達は自分の鏡です。自分は友達を鏡であり、自分がこの「友達」の部分で「指圧」という言葉に入れ替えてみてよいのではないでしょうか。

その人の指圧を受けたら、なんとなくその人となりかわかる気がする。技術的に上手とか下手とかいうのではなく、もつとこう...なんというかその「端的に言えば、「その人の指圧は、その人自身にしか表現できない」ということでしょうか。

三年という長い月日を一緒に頑張ってきた我がクラスメイトの指圧であれば、私は目をつむって受けたつてそれが誰のものかわかりません...多分(笑)。

三年間皆勤賞だったあの人の庄。

仕事かギリギリに終わって教室に走って駆けこんできたあの人の庄。

誰よりも勉強熱心で成績優秀だったあの人の庄。

楽しかった浪越学園

D組 甲斐 麻里子



三年間の学校生活はあつという間でした。国試の一週間前ぐらいからは自宅学習期間に入り、先生から貰ったプリントや線を沢山引いた教科書を見て、「もう終わるんだなあ」と少し寂しい気持ちになったのを覚えています。覚えたゴロや苦手だったところの確認、得意なところでもうっかりミスをしないうように復習をし、ベタ

ですが前日の夜はカツ丼を食べました。当日は緊張感もありましたが、朝から先生も来て励ましてくださり、いつも通り

模擬試験の点が伸びなくても、諦めずに毎日ひたすら机に向かっていたあの人の庄。

体の悪い奥さんのお世話をしながら、最後のほうは自分の体を壊してしまっても、卒業まで通い抜いた最年長のあの人の庄。

進級ラインギリギリまで休みまくっても、何食わぬ顔だったアノ人の庄。

「了解ッス」が口グセだけど、了解なんぞした試しがなかったアイツの庄。

実技の授業で先生からの質問、「腹部指圧の20点目はどこを圧しますか？」に対し、「ダグラス窩ッス!!」と本気で言い放ったあの野郎の庄。...etc...

毎日のように顔を合わせていた皆とも、もう会わなくなると思うと、少しだけ、ウルツときてしまうと同時に、「伝説のダグラス窩事件」のことが頭をよぎり、笑いがこみ上げてきて情緒が安定しない自分がいます。

三年間お世話になりました先生方、61期C組の皆様、支えてくれた家族、職場の先輩方、交流して頂いた同級生の皆様、修練会旧顧問の稲葉哲夫先生、現顧問の小林秋朝先生、担任でもあった渡邊和雄先生、そこでお相手して下さった卒業生、在校生の皆様、そして私を指圧というものに誘って下さった学校創始者の浪越徳治郎先生に深く感謝致します。

どうもありがとうございました。

に臨む事ができました。

臓器の位置も知らなかった私が、今ではふと支配神経のことを考えたり、倒れている人がいたら声をかけたり、人の歩き方も意識するようになって、生活の中にしっかりと知識が染みついていて、自覚できる瞬間があります。それだけ私の中でこの三年間は濃く、人生を変えるものになりました。

友達や家族のように接してくれた先生達や、毎日一緒に過ごしたクラスメイト、指圧や身体知識、全部が大切な存在で宝物です。

日本指圧専門学校で関わった皆様、今までありがとうございました。

学

園

祭



本校の学園祭が、令和元年9月14日(土)に開催されました。例年は7月に開催されておりましたが、本年度から学生達の期末試験期間を避け、また、灼熱の暑さをも避け、9月に開催の運びとなりました。

本年度は趣向を変え、校庭は休憩スペースとし、本校舎の三階、四階を使って一年生による坐位指圧、二年生・三年生によるチャリティー指圧をメインとし、多くのお客様に浪越式指圧を体験して頂きました。

浪越式指圧の良さを大いに感じて頂き、大好評を得て、行列待ちができるほどでした。

五階では例年通りイベントが行われ、学生と教員とその仲間たちによるバンド演奏で大いに盛り上がりました。

また、第3実技室を使い、浪越徳治郎先生の偉大な業績を写真と年表で綴らせて頂き、改めて浪越徳治郎先生の偉業に感銘を受けて沢山のお客様で賑わいました。

学校名物ともなった阿波踊り「指圧連」が、更に熱くお祭りを盛り上げました。

同時に学校説明会が開催され、本校の特色や授業内容等を受験希望者、指圧にご興味のお有りの方々に伝えることができ、非常に意義深い時間となりました。

今回で15回目になりましたが、楽しみにして下さっている方々の声を聞くと、年々地域に根付いているように感じます。学園祭委員をはじめとして学生達は各コーナーの充実をはかるべく頑張っております。

お知り合いの方、ご入学を考えている方などお誘い合わせの上、是非足をお運び下さい。

最後に、学園祭にご参加頂いた皆様に心より感謝いたしますと共に、学園祭を盛り上げてくれた学生達に心よりお礼申し上げます。

**今年の学園祭は、
9月12日(土)に行います。**

寄付金賛助者ご芳名

令和元年度 二七五件
六一五、〇〇〇円

御芳名掲載をもって
御礼と領収の証とさせていただきます。○数字卒業期(敬称略、順)

☆五千元

⑧大村ミヨ子⑩桐克彦⑬問田(山田)十喜子⑮鶴見せつ子⑯小谷田作夫⑳ダヴィンチ治療院㉓石田浩

☆四千元

㉔上野末次⑳中島祥景㉒小澤秀行㉓鈴木啓一④小林章一④田中功⑥岩井満

☆河北剛

☆三千元

☆一万四千元
⑦川原善次郎

☆二万三千元
④渡辺豊

☆一万二千元
⑤岩本健一

☆一万元

⑰小林秋朝⑱広本義人⑲西田恒治⑳山手文雄㉑島崎広彦㉒柴田芳市㉓馬場雄一⑤佐藤保

☆八千元

⑰鈴木純隆⑱畑中(川原)糸美④佐々治六郎⑤志賀章宏

康弘⑤福田慎一郎⑤安保勝⑥眞山建介

☆二千元

①小松崎義雄②小松崎(黒澤)ツネ③岡元満④細谷節子⑤松本(加藤)チヨ子⑥高柳茂男⑦菊地善信⑧佐藤肇⑨菊地(塚本)和江⑩平井伸徳⑪平井(市川)浩子⑫糸井正子⑬下田(石川)文子⑭小美濃隆⑮高木二朗太⑯田村欣也⑰高橋耕作⑱千野京子⑲上澤敏一⑳中村(岡崎)陽子㉑糸井主好㉒岡田悦子㉓本間裕㉔佐藤優㉕倉地徳成③田中伸明④平野晴彦⑤小山郁子⑥永永洋子⑦狩野かよ子⑧森近大輔⑨齋藤浩⑩小野朋子⑪高内英美⑫山崎陽⑬大森紀代子⑭川島健嗣⑮青山敏彦⑯高木諭⑰大崎益弘⑱宮下麗子⑲長谷部佳代⑳櫻田知也㉑宮下英敏㉒角本靖司

☆一千元

(学院)上村昭郎④山川友枝⑤小松(古田)豊子⑥石原和信⑧岡(坂内)和子⑨原ちえ子⑩眞間時男⑪岩切秀樹⑫齊藤轟一⑬鳥美専⑭萩原(清水)忠雄⑮三浦るり子⑯三宅隼夫⑰松嶋丈介⑱中村健一⑲萩原嘉寿代⑲斎藤良知⑲片山晶子⑲堀江秀樹⑲田代陽一⑲天海誠⑲千葉主⑲新村忠志⑲佐藤玄祥⑲飯島幸雄⑲福原俊彦⑲榎本紀次⑲渡部武利⑲小林静佳⑲益子肇⑲青木豊⑲渡辺正雄⑲橋本二郎⑲中村一夫⑲胡桃愛子⑲岡本草苑子⑲田島公代⑲関伊智朗⑲工藤文宏⑲大貫久美子⑲山田三義⑲水上和好⑲杉山保雄⑲笠原正親⑲青山晴基⑲野口(清水)雅子⑲川畑(川原)女恵子⑲内山直行⑲浦井勝次⑲内城勇造⑲藤井(奈良)厚子⑲福安志泰⑲宇佐美七海⑲安藤富士男⑲大場(茂木)秀子⑲宇佐美康夫⑲小野絃緑⑲立野忠義⑲梅枝(森藤)千代子⑲桑原(村本)浩子⑲大城裕子⑲西海泰子⑲橋詰兼一⑲黒川勝憲⑲本間陽一⑲松本喜照⑲篠崎操⑲齊坂京子⑲岡峰有紀⑲湯口信雄⑲岡崎(藤野)京子⑲鈴木喜也⑲瀬田松悦子⑲三村公明⑲金井俊潔⑲相澤寛和⑲本間博⑲中田健二⑲相澤文隆⑲中野俊夫⑲柏崎初子⑲上田康弘⑲笹山秀美⑲了戒正人⑲入江徹⑲中野成人⑲平井正子⑲鈴木喜美子⑲前田孝男⑲重森祐二⑲葛原直樹⑲岡野昭⑲谷内克大⑲稲生妙子⑲水野(佐藤)恵里⑲松本

編集後記

新緑が芽吹き、爽やかな春風が心地よく、太陽の日差しも私たちの心を和らげてくれるととても過ごしやすい季節を迎え、身も心も活動的になってくるはずが、このところの新型コロナウイルスの影響で同窓生の皆様、大変なご生活を送られている事と思います。我が浪越学園も4月より新入生をお迎えしたのですが、新型コロナウイルスの影響で現在、授業が開始できない状況です。同窓生の皆様も、くれぐれもお身体に気を付けてお過ごし下さい。

また、指圧という手技療法の中の素晴らしい技術を学び、身に付けたと思われのお知り合いの方々がいらっしゃいましたら是非ご入学をお考え頂けますようお願い致します。素晴らしい環境と、素敵なスタッフがお待ちしております。

今回で同窓会会報誌も第41号を発行するに至ることが出来ましたことを心から感謝致しますと共に、同窓生の益々のご活躍、ご発展をお祈り致します。

同窓会は学生、教職員、卒業生を繋ぐ礎です。「指圧のころ 母のころ」を胸に刻み同窓会を皆で盛り上げて行きたいと思っております。今年度は新型コロナウイルスが終息致しましたら、同窓会研修会を数回にわたり開催予定です。同窓生の皆様、お誘いあわせの上ご参加下さい。指圧療法に役立つ内容をご用意してお待ちしております。

新型コロナウイルスに負けないよう、くれぐれも健康に留意して、この苦境を乗り切りましょう。最後に同窓生の皆様のご多幸をお祈り致します。(金子智久)

予算・決算・収支報告書

予算案

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

収 入 の 部			
	令和元年度予算	令和元年度決算	令和2年度予算
前年度より繰越	5,557,453	5,557,453	6,302,108
入 会 金	1,350,000	1,365,000	1,290,000
運 営 費	900,000	856,000	900,000
総 会 収 入	500,000	268,000	0
預 金 利 息	10	46	40
そ の 他 収 入	0	0	0
寄 付 金	800,000	615,000	700,000
講 習 会 費	0	0	0
収 入 合 計	9,107,463	8,661,499	9,192,148
支 出 の 部			
	令和元年度予算	令和元年度決算	令和2年度予算
総 会 費	1,300,000	452,000	0
講 習 会 費	500,000	0	0
会 報 発 行 費	1,300,000	1,050,540	1,200,000
通 信 費	500,000	374,095	400,000
印 刷 費	50,000	31,500	40,000
渉 外 費	150,000	55,000	100,000
交 通 費	300,000	117,800	250,000
慶 弔 費	50,000	40,000	50,000
事 務 用 品 費	30,000	19,274	30,000
雑 費	50,000	37,011	50,000
情 報 管 理 費	150,000	146,171	200,000
役 員 会 議 費	50,000	0	30,000
設 備 使 用 料	36,000	36,000	36,000
予 備 費	50,000	0	100,000
新 規 事 業 費	200,000	0	600,000
事 務 活 動 費	50,000	0	50,000
支 出 合 計	5,266,000	2,359,391	3,136,000
次 年 度 繰 越	3,325,296	6,302,108	6,056,148

令和2年3月31日

日本指圧専門学校同窓会

会 長 岩 本 健 一 印
 会 計 高 橋 雄 輔 印
 黒 田 美 稚 子 印
 監 査 渡 邊 和 雄 印
 角 本 靖 司 印

貸借対照表

令和2年3月31日現在

資 産 の 部		負債及び正味資産の部	
現 金	58,392	新 規 事 業 引 当 金	0
三 菱 東 日 信 託 銀 行 普 通 預 金	3,158,371	(正味資産の部)	
ゆ う ち ょ 銀 行	3,085,345	余 剰 金	6,302,108
合 計	6,302,108	合 計	6,302,108

収支報告書

自 平成31年4月1日
至 令和2年3月31日

収 入 の 部			
	元年度予算	元年度決算	内 訳
入 会 金	1,350,000	1,365,000	63期 15,000円×91名分
運 営 費	900,000	856,000	2,000円×428名分
総 会 収 入	500,000	268,000	4,000円×58名分 2,000円×18名分
預 金 利 息	10	46	三菱東京UFJ ゆうちょ銀行 普通口座利息
そ の 他 収 入	0	0	
寄 付 金	800,000	615,000	275名より
講 習 会 費	0	0	
当 期 収 入 合 計	3,550,010	3,104,046	A
前 期 繰 越 収 支 差 額	5,557,453	5,557,453	B
収 入 合 計	9,107,463	8,661,499	A + B
支 出 の 部			
	元年度予算	元年度決算	内 訳
総 会 費	1,300,000	452,000	懇親会会場費、講師謝礼
講 習 会 費	500,000	0	
会 報 発 行 費	1,300,000	1,050,540	会報第40号 旭出版
通 信 費	500,000	374,095	案内状郵送料(研修会、役員運営委員会)、ハガキ代等
印 刷 費	50,000	31,500	総会案内ハガキ印刷代 旭出版
渉 外 費	150,000	55,000	日本指圧協会、母校 祝い金等
交 通 費	300,000	117,800	役員運営委員会 交通費他
慶 弔 費	50,000	40,000	指聖供養塔生花、物故者香典
事 務 用 品 費	30,000	19,274	今井文具店 領収書、封筒、同窓会スタンプ作成
雑 費	50,000	37,011	役員運営会お茶代、60期同窓会長賞
情 報 管 理 費	150,000	146,171	名簿データCD作成、ホームページサーバーレンタル料
役 員 会 議 費	50,000	0	
設 備 使 用 料	36,000	36,000	母校へコピー機、電話等施設利用料として
予 備 費	50,000	0	
新 規 事 業 費	200,000	0	
事 務 活 動 費	50,000	0	
当 期 支 出 合 計	4,766,000	2,359,391	C
当 期 収 支 差 額	-1,215,990	744,655	A - C
次 年 度 繰 越	4,341,463	6,302,108	A + B - C

日本指圧専門学校同窓会
会員各位殿

皆様ご存知の通り新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、我々の身近な所でも多くの活動が支障をきたしています。そのような状況にあつて同窓会役員会は令和2年度同窓会総会の開催について慎重に審議してまいりましたが総会に参加される皆様の健康と社会的な責任を考慮し同窓会総会開催の中止を決定するにいたしました。今後の見通しについては社会環境を見極めつつ同窓会HP等にてご案内させていただきます。

また本来であれば総会にて令和元年度の事業報告、収支報告、令和2年度の事業計画案、事業予算案、役員改選期に伴う新役員人事等の審議、承認を頂くところですが新型コロナウイルス感染症対策の影響で定例役員会さえも中止となり重要事項の審議も滞っております。やむを得ず会長、副会長、幹事長のみで新年度の暫定的な対応をさせていただきます対応してまいりますので会員の皆様におかれてはご理解のほどお願い申し上げます。

医療に携わる会員の皆様におかれてはくれぐれも新型コロナウイルス感染症への対応に万全を期し次回総会時に全員が明るく元気に集うことができるよう祈願いたします。

日本指圧専門学校同窓会
会長 岩本健一

同窓会文化部報告

文化部会長 小林秋朝

同窓会員のみなさまには、ご健勝のことと、心からお慶び申し上げます。
令和元年度の文化部活動をご報告します。

第1回、5月12日(日)「古都鎌倉散策」と「凜林」にて懇親会。

参加者、卒業生+学生合計13名+卒業生子弟3名総計16人

第2回、10月20日(日)両国「江戸博物館」見学。「ちゃんこ鍋江戸沢」にて懇親会。

参加者、卒業生+学生合計17人

第3回、12月22日(日)東京国立博物館、特別公開「高御座と御帳台」見学。

「旧岩崎邸」見学。「ディンシェンキ」にて懇親会。

参加者、卒業生+学生合計12人。

前年度4回、今年度3回累計7回催行しました。

各行事に参加された感想文は、同窓会ホームページ文化部に掲載されています。

今後も企画内容と募集広告は、同窓会ホームページに随時掲載して参ります。

会員のみなさまには、適宜ご覧いただきまして興味ある行事にご参加ください。

なお催行時の費用は、全額自己負担で行われています。

今後も同窓の絆を結ぶ文化部の活動に積極的なご参加をお待ちしています。